

1 予算の創意と工夫、事業の「選択と集中」について問う。

論点	平成27年度のまちづくり基盤整備の政策指針はどのようなものか。
回答	様々な基盤整備と暮らしの安全、2つの側面から住みよいまちづくり、躍動感に満ちた魅力と活力ある地域づくりに取り組む。また協働のまちづくりを進めるに当たって、人づくりと地域再生、この3つの視点から施政方針を作成した。

論点	市民生活の安心・安全確保のための基盤整備はどのような取り組みがされるのか。
回答	災害から市民の生命と財産を守り安全な暮らしを確保していくため、公共が責任を持って実施していく。具体的には海岸保全や内水排水や道路改修などがある。また自助共助の観点から防災士の育成支援、地域防災訓練など進めていく。

論点	予算編成に当たっては、効果的な行財政運営体制の確立と事業の見直しを図りつつ、不断の行財政改革にも取り組むとあるが具体的にはどのようなものか。
回答	行政活動を統一的な視点をもって事業評価を実施している。事業ごとの活動評価、成果指標を設定して次年度への事業実施に向けての協議をして、事務事業の更なる効率化、改善に活用している。

2 平成27年度の主な施策の3つの視点について問う。

論点	国の定住自立施策や地方創生政策は、市の少子高齢化に伴う人口減少問題、社会福祉問題などに対応できる施策として相乗効果が期待されるが、どの様に対応するのか。
回答	定住自立圏構想は、それぞれの自治体の特性を生かし、圏域内の地域力を高め、様々な課題に対応していくための重要な政策だが、現状では近隣市との調整に至らず、今後、市域を超えた様々な分野での課題に、広域的地域連携を図り課題に対応していく。

論点	自主的、主体的な取り組みとなる地方創生のために総合戦略を策定するとあるが、どの様なものか。
回答	まち、ひと、しごと創生法に基づき、人口の現状分析、将来の展望を内容とする。地方人口ビジョン及びそれを踏まえた目標、施策を内容とする地方版総合戦略を策定し、全庁的な検討をしていく。また産官学をはじめ幅広い意見も取り入れる。

論点	定住促進につながる少子高齢化対策や、子ども子育て支援新制度への対応など、具体的な取り組みはどの様なものか。
回答	企業誘致や既存企業の内発促進や雇用の確保に努めながら就労、結婚、子育て支援を推進する。また定住促進に大きな期待がもたれる、東京理科大の公立法人化への移管と薬学部の新設に向けて準備作業に取り組んでいる。

論点	新市誕生10周年に当たり市民の一体感の醸成に努め躍動感あふれるまちづくりに繋がる記念事業が計画されたのか。市民の意思は十分反映されているのか。
回答	10周年記念事業の取り組みには、市民代表、公募市民などで構成した実行委員会や市内高校生、大学生、会議所青年部、JC、市若手職員などで構成するユース会議や庁内推進会議など、連携して記念事業の目的を達成するため企画立案をしている。

論点	記念すべき10周年の節目として、この感動を次世代に伝え残すべき企画、実感が見えない。庁内推進会議による企画が一人走りしていないか。
回答	様々な記念事業を実施することで、地域のにぎわい、活力を市全体の活力に繋げ協働のまちづくりを推進して、さらに市の知名度、魅力度をアップさせ次の10年に向けて着実に歩みを進めていく。